

1. 病院全体に関連する指標

区分	指標(項目)	年度			算出方法等
		2014年度	2015年度	2016年度	
1	(基礎情報)病床数	269床	269床	274床	
2	入院患者数	4,773名	4,750名	5082名	
3	延べ外来患者数	135,991名	136,382名	134,867名	
4	ベッドあたりの医師数	0.23名	0.23名	0.25名	医師数/病床数 医師数に研修医、歯科医含む 2016年4月時点 医師数(67 名)/ 病床数(269 床) 2015年4月時点 医師数(61 名)/ 病床数(269 床)
5	ベッドあたりの看護師数	0.86名	0.83名	0.85名	看護師数/病床数 2016年4月時点看護師数(229 名)/ 病床 (269 床) 2015年4月時点看護師数(223 名)/ 病床 (269 床)
6	病床利用率	73.89%	71.71%	68.80%	2016年度 入院患者延数 68,954 人/(病床数 274 × 366 日)×100 2015年度 入院患者延数 70,610 人/(病床数 269 × 366 日)×100
7	平均在院日数	14.8日	14.9日	13.8日	毎日24時現在の在院患者の延べ日数/ ((新入院患者数+新退院患者数)/2)
8	剖検数	2.22%	2.29%	8.13%	2016年度 剖検数(10 件)/患者死亡数(123 名) 2015年度 剖検数(3 件)/患者死亡数(131 名)
9	死亡退院患者数	2.84%	2.73%	2.44%	2016年度 死亡退院患者数(123 名)/退院患者数(5,402 名) 2015年度 死亡退院患者数(131 名)/退院患者数(4,782 名)
10	退院後6週間以内に予定しない再入院となった割合	5.24%	4.93%	5.08%	前回退院日より6週間以内に緊急に再入院した患者数/退院患者総数 2016年度 256 名 / 5,042 2015年度 236名 / 4,782
11	前回退院日より1ヶ月以内に、前回と同じ病名で緊急入院した患者の割合	1.72%	2.94%	1.73%	前回退院日より30日以内に前回と同じ病名で再入院した患者数/ 退院患者総数 2016年度 87 名 / 5,042 名 2015年度 141 名 / 4,782 名
12	入院患者における他科への診察依頼の割合	8.41%	8.33%	7.69%	2016年度 延対診件数(5,306 件)/延入院患者数(68,954 名) 2015年度 延対診件数(5,888 件)/延入院患者数(70,610 名)
13	褥瘡発生率	1.93%	2.03%	1.44%	「調査日に褥瘡を保有する患者数-入院時すでに褥瘡保有が記録されていた患者数」÷調査日の施設入院患者数×100
14	術後24時間以内の再手術率	1.06%	0.48%	0.35%	入院にて術後24時間以内に再手術を行った患者数/入院手術件数 2016年度 6 名 / 1,721 件 2015年度 8 名 / 1,662 件
15	術中、術後の大量輸血患者の割合	0.24%	0.25%	0.35%	大量輸血比率=手術日、翌日に1日MAP6以上輸血した件数/全手術件数 2016年度 MAP6単位以上件数(6 件)/全手術件数(1,721 件)
16	研修医1人あたりの指導医数	1.55名	1.89名	1.42	2016年3月 講習会を受講済み指導医数(17 名)/研修医数(12 名) 2015年3月 講習会を受講済み指導医数(17 名)/研修医数(9 名)
17	卒後臨床研修マッチング1位希望者倍率	0.5倍	1.0倍	1.0倍	2016年度 希望者(6 名)/定員(6 名) 2015年度 希望者(6 名)/定員(6 名) 2014年度 希望者(3 名)/定員(6 名)

2. 予防医療に関する指標

1	職員のインフルエンザ予防接種率	96.78%	94.89%	92.94%	2016年 予防接種者数(487 名)/職員数(524 名) 2015年 予防接種者数(446 名)/職員数(470 名)
2	職員の健康診断受診率	100.00%	100.00%	100.00%	2016年 職員健診受診者数(名)/職員数(名)春と秋2回の合計人数 2015年 職員健診受診者数(856 名)/職員数(856 名)春と秋2回の合計人数
3	健康診断受診職員の禁煙率	92.32%	93.12%	92.21%	2016年度 禁煙職員数 (485 名)/調査職員数(526 名)

3. 診療科領域ごとの指標

1	(総内科)肺炎入院患者のうち血液培養を施行した割合	34.01%	29.49%	28.57%	総内科の退院患者で肺炎の病名で血液培養を行った比率 2016年度 血液培養実施患者数(52 名)/肺炎の病名がある患者数(182 名) 2015年度 血液培養実施患者数(87 名)/肺炎の病名がある患者数(295 名)
2	(総内科)肺炎入院患者の平均在院日数	30.93日	26.7日	15.03日	総内科の退院患者で、主病名が肺炎の平均在院日数 2016年 肺炎患者在院日数(2,314 日)/主病名が肺炎の患者数(154 名) 2015年 肺炎患者在院日数(6,942 日)/主病名が肺炎の患者数(260 名)
3	(呼吸器)喘息入院患者の割合(65歳以上)	0.82%	1.28%	1.51%	内科における65歳以上の喘息退院患者の比率 2016年度 76 名 /年間退院患者数(5,042 名) 2015年度 61 名 /年間退院患者数(4,782 名)
4	(呼吸器)喘息入院患者の割合(18歳以上)	1.03%	1.63%	2.06%	内科における18歳以上の喘息退院患者の比率 2016年度 104 名 /年間退院患者数(5,042 名) 2015年度 78 名 /年間退院患者数(4,782 名)
5	(乳腺科)乳がんにおける5年生存率	-	-	-	2016年度生存者数(名)/症例数() 2015年度生存者数(名)/症例数()
6	(乳腺科)乳がんにおける10年生存率	-	-	-	2016年度生存者数(名)/症例数() 2015年度生存者数(名)/症例数()
7	(乳腺科)乳がんにおける乳房温存手術率	-	0.00%	0.00%	2016年度 乳房温存手術件数(0 件)/乳房手術実施件数(5 件) 2015年度 乳房温存手術件数(件)/乳房手術実施件数(件)
8	乳癌手術後における乳房再建手術率	-	0.00%	100.00%	2016年度 乳房再建手術件数(5 件)/乳房手術件数(5 件) 2015年度 乳房再建手術件数(件)/乳房手術件数(件)

区分	指標(項目)	年度			算出方法等
		2014年度	2015年度	2016年度	
9	(産科・周産期)帝王切開患者における深部静脈血栓発生率	-	0.00%	0.00%	産科・周産期科退院患者で深部静脈血栓が登録された患者数/帝王切開を行った退院患者数 2016年度(0名)/(5名) 2015年度(名)/(名)
10	(小児科)腸重積非観血的整復率	100.00%	100.00%	100.00%	2016年度 1例 / 1例 2015年度 2例 / 2例
11	(小児科)市中肺炎入院患児の血液培養実施率	65.19%	68.98%	65.24%	2016年度 244例 / 374例 2015年度 298例 / 432例
12	(小児科)小児肺炎患者の平均在院日数	5.2日	6.4日	6.4日	16歳未満の主病名が肺炎患者の在院日数/16歳未満の肺炎入院患者数 2016年度(2,112日)/330名 2015年度(2,747日)/431名
13	(児外科)急性虫垂炎小児患者の平均術後日数	5日	7.25日	5.67日	16歳未満の急性虫垂炎入院患者の在院日数/16歳未満の急性虫垂炎の切除手術を行った入院患者数 2016年度(34日)/(6名) 2015年度(29日)/(4名)
14	(児外科)ヘルニア手術における小児患者の平均術後日数	1.2日	0日	2日	16歳未満のヘルニア入院患者の在院日数/16歳未満のヘルニア切除手術を行った入院患者数 2016年度(2日)/(1名) 2015年度(0日)/(0名)
15	(肝胆膵)腹腔鏡から開腹手術へ移行した胆嚢摘出術の割合	5.26%	2.56%	3.03%	開腹手術へ移行した手術患者数/腹腔鏡下胆嚢摘出術で手術を開始した患者数 2016年度(2名)/(66名) 2015年度(1名)/(39名)
16	(肝胆膵)膵臓癌に対する膵臓切除後の死亡退院の割合	0.00%	0.00%	0.00%	膵臓切除後の死亡退院患者数/膵臓癌における膵臓切除患者数 2016年度(0名)/(1名) 2015年度(0名)/(1名)
17	(肝胆膵)肝臓がんに対する肝臓切除後の死亡退院の割合	0.00%	0.00%	0.00%	肝臓切除後の死亡退院患者数/肝臓がんにおける肝臓切除患者数 2016年度(0名)/(6名) 2015年度(0名)/(4名)
18	(救急)尿路感染(UTI)入院率	1.33%	0.75%	0.79%	2016年度 尿路感染症患者数(40名)/年間退院患者数(5,042名) 2015年度 尿路感染症患者数(36名)/年間退院患者数(4,782名)
19	(腎内科)維持血液透析患者の貧血コントロール	66.20%	41.00%	67.21%	2016年 ヘモグロビン検査値が10.5g/dlより大きい患者数(41名)/維持血液透析患者数(61名) 2015年 ヘモグロビン検査値が10.5g/dlより大きい患者数(25名)/維持血液透析患者数(61名)
20	(腎内科)維持血液透析患者のうちCa・P積が55未満の割合	78.26%	67.69%	81.97%	2016年 Ca・P積が55以下の患者数(50名)/維持血液透析患者数(61名) 2015年 Ca・P積が55以下の患者数(57名)/維持血液透析患者数(84.2名)
21	(腎内科)維持血液透析の透析効率	94.03%	100.00%	88.52%	2016年度 Kt/Vの値が1.2以上の患者数(54名)/維持血液透析患者数(61名) 2015年度 Kt/Vの値が1.2以上の患者数(61名)/維持血液透析患者数(61名)
22	(分内科)HbA1cのコントロール(AbA1c<7.0%)	65.40%	74.03%	68.40%	2016年度 HbA1cの最終値が<7.0の患者数(650名) /インスリン製剤または経口血糖降下薬が処方されている患者数(951名) 2015年度 HbA1cの最終値が<7.0の患者数(670名) /インスリン製剤または経口血糖降下薬が処方されている患者数(905名)
23	新生児において出世時体重が1500g未満の割合	-	-	0.00%	2016年度 出生時体重が1500g未満の産児数(0件)/新生児数(29) 2015年度 出生時体重が1500g未満の産児数(件)/新生児数()
24	新生児において出世時体重が2500g未満の割合	-	-	6.90%	2016年度 出生時体重が2500g未満の産児数(2件)/新生児数(29) 2015年度 出生時体重が2500g未満の産児数(件)/新生児数()
25	正産産児数においてアプガースコア4以下の割合	-	-	0.00%	2016年度 アプガースコア4以下の産児数(0件)/正産産児数(27) 2015年度 アプガースコア4以下の産児数(件)/正産産児数()

4. 医療安全に対する指標

1	転倒・転落率	0.34%	0.29%	0.33%	2016年度 転倒・転落した患者数(226名)/在院患者総数(68,954名) 2015年度 転倒・転落した患者数(205名)/在院患者総数(70,610名)
2	手術が必要となった入院中の転落	0.02%	0.06%	0.06%	2016年度 入院中の転倒(レベル3b以上)患者のうちそれが原因で手術を実施した件数(3件)/退院患者数(5,042名) 2015年度 入院中の転倒(レベル3b以上)患者のうちそれが原因で手術を実施した件数(3件)/退院患者数(4,782名)

5. 検査に対する指標

区分	指標(項目)	年度			算出方法等
		2014年度	2015年度	2016年度	
1	72時間以内に結果報告されている生理検査の割合	100.00%	100.00%	100.00%	72時間以内に作成された生理検査レポート件数/生理検査実施件数
2	当直時間帯検査で、翌朝までに放射線科医師による読影レポートを発行した割合	100.00%	100.00%	100.00%	2016年度 2,022件 2015年度 1,745件 2014年度 2,032件
3	院外医療機関より検査依頼があり、読影レポートを発行した割合	100.00%	100.00%	100.00%	2016年度 1,609件 2015年度 1,769件 2014年度 1,735件
4	全体読影レポートに対する院外医療機関より依頼のあった検査及び読影レポート数の割合	13.89%	13.62%	11.48%	2016年度 1,609件 / 14,015件 2015年度 1,769件 / 12,986件 2014年度 1,735件 / 12,492件
5	輸血製剤廃棄率	7.80%	4.27%	7.80%	廃棄赤血球製剤単位数/輸血室から出庫の赤血球製剤単位数